



▲楽しそうに白バイに試乗する子どもたち

宗像・福津交通安全大会 目指せ!交通事故のないまち

宗像・福津交通安全大会が5月17日に市中央公民館で開催されました。交通安全宣言や交通情勢の報告のほか、県警察音楽隊の演奏会が行われました。演奏会ではテレビアニメの音楽などを演奏。演奏に合わせて子どもたちが歌ったり、手拍子をしたりして、会場は大いに盛り上がりました。

公民館の入口では子どもたちがパトカーと「白バイ」の試乗を楽しんでいました。また、県安全協会のキャラクター「しぐまる」は子どもたちに囲まれ、大人気。しぐまるは「一緒に踊ろう」といった子どもたちの声に優しく応えていました。

レスキューフードの贈呈式 食料支援の輪が広がる

「どの子どもも凹凸プロジェクト実行委員会」が九州電力送配電株式会社福岡配電事業所から、6月7日に未来共創センター キッカケラボでレスキューフード(以下、非常食)324食分の寄贈を受けました。寄贈した宮川浩範所長は「日頃の食料配付活動に、非常食を活用してほしい」と話していました。また、非常食を受け取った同委員会の宮木代表は「いつも活動の応援をしてくださってありがたい。月に1回食品を受け取りに来る皆さまに非常食を配付しながら、防災のことを話したり、情報提供をしたりする機会にしたい」と話していました。



▲寄贈を受けた宮木代表(左)と宮川所長(右)



▲高齢男性を救助し、表彰を受けた石津さん(中央)

福津市民に人命救助表彰 動けなかった高齢男性を救助

宮地嶽神社北東側の山道で、バイクの傍らに倒れている高齢男性を発見した市内在住の石津則昭さんが、早期の通報、救急隊の誘導および活動支援を行いました。病院に搬送された高齢男性は低体温症から無事に回復。石津さんは「早く見つかかり、命が助かって良かった」と話していました。

5月22日には宗像地区消防本部で人命救助表彰が行われ、石津さんに感謝状と記念品が贈呈されました。牧吉紀消防長は「冷静沈着に判断、通報、誘導、活動協力をしていただきありがとうございました」と感謝の気持ちを伝えていました。

女性のための健康サロン もっと知ってほしい子宮頸がんのこと

毎年約1万人の女性が子宮頸がんにかかり、約2,900人が死亡していますが、子宮頸がんは予防できる病気になってきています。この子宮頸がんのことをもっと知ってもらおうと、宗像医師会と市の共催で「女性のための健康サロン～もっと知ってほしい子宮頸がんのこと」を5月28日に開催しました。

宗像水光会総合病院産婦人科部長の宮原大輔先生は、HPVワクチンの有効性や、検診受診率が高くなるに連れて、がんの死亡率が下がっているデータなどを提示し「検診を受け、HPVワクチンを接種することが重要」と話していました。



▲参加した47人に向けて詳しく説明する宮原先生

 篠原 大和ちゃん 福	 真田 侑生ちゃん 福	 吉原 礼夏ちゃん 福
 頼 美陽琉ちゃん 福	 伊藤 朱音ちゃん 福	 田中 悠翔ちゃん 福
 尼 陽翔ちゃん 神	 甲斐 環希ちゃん 福	

発行月に1歳の誕生日を迎える赤ちゃんの写真を募集しています。掲載を希望する人はプリントした写真を子育て支援センター「なかよし」に持参するか、市公式ホームページでも受け付けています。持参の場合、写真はプリントしたものに限り、データの持ち込みは受け付けられません。



毎号先着24人で、10月生まれの赤ちゃんは8月22日(火)が受付期限です。

受付、問い合わせ 市子育て支援センター「なかよし」(ふくとぴあ) ☎35・8382
休館日 月曜日、第2土曜日とそれに続く日曜日、祝日

▶写真申込フォーム



「広報ふくつ」が全国広報コンクール入選 7年振りの受賞

広報ふくつ令和4年12月号が全国広報コンクールで入選し、6月23日に開催された全国広報広聴研究大会で表彰を受けました。審査員からは「戦時中の体験記、そして当時の親子間でやり取りされた貴重な手紙を広報紙に残したことに大きな意義を感じる」などと評価されました。



▲令和4年12月号表紙と賞状

上西郷小学校でゴミ学習を実施 いつまでも記憶に残る学びを

上西郷小学校4年生を対象にしたゴミ学習を5月31日に行いました。市うみがめ課の職員からゴミの排出状況などの説明があり、児童は熱心にメモを取っていました。また林田産業の皆さんの協力で、ゴミ収集車を間近で見たり触れたりする機会があり、児童はとても喜んでいる様子でした。



▲実際にゴミ回収を体験する児童